

# セイブ・ザ・ワールド

2004(平成16)年7月24日鑑賞(ユウラク座)

★★



監督＝アンドリュー・フレミング／出演＝マイケル・ダグラス／アルバート・ブルックス／ロビン・タニー／ライアン・レイノルズ／キャンディス・バーゲン／デヴィッド・スーシェ／リンゼイ・スローン (ギャガ・ヒューマックス共同配給／2003年アメリカ映画／95分)

……マイケル・ダグラスの主演作だが、共演のアルバート・ブルックスのコメディをたっぷりと入れこんだ娯楽作。といっても、25年前の大ヒットコメディのリメイク版とのことで、今頃なぜこんなB級作品が……？ マイケル・ダグラスって、もっとカッコ良かったのでは……？

## マイケル・ダグラスの主演作は多いが……

この映画の主演はマイケル・ダグラス。日本にやってきた刑事を演じて、高倉健と共演した『ブラック・レイン』(89年)の他、マイケル・ダグラスの代表作は、『危険な情事』(87年)、『ウォール街』(87年)、『ダイヤルM』(98年)など。そして最近では、『トラフィック』(00年)などがある。

このように彼の主演作は話題作が多く、それぞれ高い評価を得ている。ふとしたことでシャロン・ストーン演ずる魔性の女と知り合い、家族崩壊の危険にさらされる弁護士役を演じた『氷の微笑』(92年)は、私の大好きな映画。しかし、この『セイブ・ザ・ワールド』という映画は……？ なぜ、こんなB級映画(?)にマイケル・ダグラスが出演したのだろうか？

## 冒頭はスリリングな展開だが……

映画の冒頭、場所はチェコのプラハ。暗い画面の中、静かに潜航している一隻の潜水艦。マイケル・ダグラス扮するステイブは、武器密輸のブローカーになりすまして、ロシアのマフィアと原子力潜水艦「オルガ」の取引を成立させたが

その直後、彼らの車は警察に包囲された。しかし、計算しつくされたような鮮やかな手口でその追及を逃れ、助手のアンジェラ（ロビン・タニー）の応援を得てセスナ機で脱出するスティーブ。

何となくスリリングな展開だが、『007シリーズ』ほどの迫力はなく、何となくマンガ的で、昔はやった『0011ナポレオンソロ』のような雰囲気……。

## スティーブの相棒は？

このスティーブの相棒として登場するのがジェリー（アルバート・ブルックス）。スティーブの息子マーク（ライアン・レイノルズ）と結婚する予定の女性メリッサ（リンゼイ・スローン）の父親がジェリーというめぐりあわせだ。

しかし、スティーブは本業（オモテ稼業）のコピー機のセールスの仕事が忙しく、結婚式を控えた息子のために、何とか父親らしいことをしたいと思っ  
ていても、現実には何もできていないありさま。そんなスティーブが罪滅ぼしのため、息子の婚約者のメリッサとその父親のジェリーを食事に招待したものの、そこで起こるのは何とも派手なドタバタ劇……。以降、スティーブと顔を合わせたジェリーは、そのたびにドタバタ劇にまき込まれ、危険な目にあうことに……。

## 悪役も少しヘン？

この映画に登場する悪役は、武器の密輸王のピエール（デヴィッド・スーシェ）。スティーブは、このピエールにオルガを売りつけることによって信頼を得て、ピエールが支配する悪の組織を一網打尽にしようという任務を負っているCIAの秘密捜査官とのこと。ホンマかいな？ ジェリーは、とてもじゃないが、そんなことを信用できるはずはない！ フランス語をあやつるピエールは、組織のボスとしてかなりのワルのはずだが、実はちょっとオカマの気をもったヘンな奴。そのお蔭で、ジェリーはこれにつき合わされて、赤いパンティーをはかされたり、男同士2人で風呂に入ったりと結構ヘンなムード。

## マイケル・ダグラスとアルバート・ブルックスの役割分担は？

パンフレットの売りは、「アクション担当はマイケル・ダグラス、お笑い担当

はアルバート・ブルックス」というもの。たしかに、2人ともきちんとその役割を果たしている。とりわけ、マークとメリッサの結婚式に乗り込んできたピエールとスティーブ+ジェリー連合軍との間に展開される奇妙な取引とアクションの連続は、それなりに派手で面白いものだが……。

## 久しぶり！ キャンディス・バーゲン

ストーリー構成上あまり意味はないものの、クライマックスでのマークとメリッサの結婚式に登場するスティーブの前妻ジュディを演ずるのは、あのなつかしいキャンディス・バーゲン。彼女は、昔、『砲艦サンバプロ』（66年）でスティーブ・マックイーンと共演した素敵な美人女優で、その後『風とライオン』（75年）、『結婚ゲーム』（79年）などにも登場していた。そして、最近『メラニーは行く！』（02年）にもチョイ役で登場。1946年生まれだから既に60歳近いが、その美貌は今でもなかなかのもの。もっとも、キャンディス・バーゲンを知ってる人が今はほとんどいないだろうが……。

2004(平成16)年7月29日記

### ミニコラム

#### A 級映画と B 級映画の線引きは？

映画館に A 級と B 級があるように、作品にも A 級と B 級がある。映画館（ハード）の場合はその線引きは容易だが、作品（ソフト）の場合その線引きは難しい。予算の多寡、監督の著名度、主演スターの格等によって自然に決まるものだろうが、時には B 級映画が大ヒットすることもある。これはかつての（SP）レコードの B 面がなぜ

か大ヒットしたりするのと同じ。人間の予想なんて当てにならないものだ。

ハリソン・フォードもマイケル・ダグラスもれっきとしたハリウッドの大スターだが、どうみてもこの2つの作品は B 級。しかし2人ともまだ老けこむ年ではないはず。ロートル俳優と言われないため、もうひとふんばりしてもらいたいものだ。